



第57号

ぽっかぽか

函南病院新設部



理事長
久 直史

新体制のお知らせ

この4月から函南病院は新しい体制でのスタートを切ることになりました。これまで久直史が第3代院長としてほぼ20年間務めてきましたが、4代目として高野篤が新院長に就任いたしました。医療は今いろんな意味で変革を迫られています。新院長のもとこれからも一層高知の地域医療に貢献してゆきたいと考えています。同時に久病院も沖卓史から玉木ゆみ院長へとバトンタッチを致しました。久病院ともどもよろしくお願い致します。



新院長
高野 篤

令和2年4月から院長が代わりました。

新院長は、今まで外科外来・病棟で診療されています高野篤先生です。高野院長は高知大学附属病院医学部在籍中からブータン難民の為に医療行為に従事し、難民と地元住民両者の診療に当たっているネパール・ジャパ郡ダマック市の「AMDA病院」でスタッフと共に医療活動を行われました。(AMDA Journal 2001年12月号より掲載)。函南病院就任後も数回ネパールを訪れては数週間、治療・手術に携わっていました。聞くところによると、専属執事にミネラルウォーターを飲まされていると思っていた所、ある日井戸水を先生のピッチャーに!!しかし、現地で体調を崩されたことがないそうです。「さすが」と思いました。



また緩和ケア病棟でも患者様と向き合った診療をさせていただきます。

—— 経 歴 ——

- 消化器科 ●一般外科
- 緩和ケア

日本外科学会
日本消化器外科学会
日本大腸肛門病学会
日本内視鏡外科学会

ある日のこと、写真では髪がありますが趣味のマラソン大会で負け、青い丸ボーズ頭で突然の登場に「お坊様かと思った」という声が聞かれたこともありました。それだけ青く輝いていました…。又、意外にアロマセラピーのインストラクターでもあり、特に緩和ケア病棟では欠かせない代替療法で院長が患者様からの問診票に合わせ、精油(アロマオイル)を処方し看護師がマッサージや芳香浴を行っています。院長を精油に例えると「ベチバー」(Vetiver、学名: Chrysopogon zizanioides)というインド原産のイネ科の多年生草本で土又は墨汁の香りがして、他の精油とブレンドした時に香りの保存効果としても使います。その効果と同じで抽象的な印象ですが、院長は診療する患者様の心を慈しみ大切にされています。院長に「抱負は何ですか」と問うと(四文字熟語が好きです)「**不言実行**」と一言。スマホで調べると「不言実行」とは、「なすべきことを黙って実行すること」という意味で「不平不満はすべて自分が抱えることになります。性格によっては大きなストレスを抱えることになる」とありました。ストレスには強いであろう院長ですが、微力ながらも各部署連携



を図りながら院長と共に益々地域に根づいた病院づくりを目指して頂きたいと考えます。

西3階病棟
看護師 半田



- 病院理念
1. 私たちは地域にとってよりよい医療・介護を目指し努力を続けます。
 2. 患者様に信頼される技術と暖かいホスピタリティを提供できることが私たちの目標です。
 3. 私たちは医療人として楽しく働ける職場作りを目指します。
- 病院基本方針
1. 我々は病気 (Common Disease) を安全・快適に治療することを目標としています。
 2. 我々は当院の専門分野での高い医療レベルを維持することに努めます。
 3. 我々は地域の他の医療機関・施設との連携を大切にします。
 4. 我々は個人の尊重を重んじ、人生の終末期に対して入院および在宅医療・介護を通じて取り組みます。

新型コロナウイルス肺炎

医療安全対策室

中国の武漢市で発生した新型コロナウイルスは世界に拡散し、今年の1月16日日本での第1例目から現在まで各地域で混乱を引き起こしています。このような混乱は2009年の新型インフルエンザでも確認され、当初の過剰な感染対策に対して反省が求められてきました。

正しい情報



未知の感染症に関して社会のパニックに惑わされることなく、「正しい情報」を入手して適切な対策を講じることが大切です。

在宅感染対策について



「濃厚接触したが無症状である」「新型コロナウイルス感染症が疑われて、PCR検査の結果待ちである」といった人々が数多くいます。家族とは別の部屋に控えてもらうよう指導されますが、自宅で外出を控えて過ごします。

家族内感染を避けるために、家族はどのような対応をすればよいのでしょうか？

まず、手洗いは最も重要な感染対策であり、家庭内でも同様です。「石鹸と流水による手洗い」もしくは「アルコール手指消毒」のどちらかを行います。

次に、「ドアノブや手すりといった**「手指の高度接触面」**の清掃の強化です。

SARS-CoV-2 (COVID-19の原因ウイルス)は、紙の上には最大1日、プラスチックの上には最大3日生存できることが分かっています。**家庭用漂白剤**を薄めたもので1日に2回ほどの清掃とします。**換気**も大切で、1時間に1〜2回程度の窓の開放をするか、換気扇を常にONにしておきます。食器については**洗浄剤と水道水による洗浄**で十分です。食洗機も有効で、食器を使い捨てにする必要はありません。衣類についても**洗濯機**で洗えば、ウイルスは大量の水道水で洗い流されてしまうので、洗濯後の衣類が感染源になることはありません。

感染が疑われる人

入浴に関しては感染が疑われる人は最後までし、バスタオルや顔拭きタオルの共有は**しません**。感染者の用いたタオルを別の人が使用すると、眼・口・鼻の粘膜に触れることになり、**感染する危険性**があるからです。

当院でも、6月から少し制限緩和はされましたが、現在も各部署で毎日朝礼の際に、職員・家族の体温確認をし、自身は出勤前の体温測定と体調管理を継続しています。外来やリハ室の待合となる場所の椅子は距離をとれるように工夫し、すべての器具やベッド・枕など1患者様ごとに消毒を



行っています。受付では、シールドを設置。玄関周囲は数多くの方が来院するので、接触感染リスクを減らすために手指消毒剤は自動ディスペンサー式へと変更し、設置場所も増えています。新型コロナウイルス肺炎に関しては、少しずつ落ちつきを見せていますが、今後どのように展開していくのかはまだ分かりません。

COVID-19専用対策ではなく「常日頃必要な対策」に重点を置いて実施していくことが感染対策の軸を見失わないコツになります。

NSも新しい仲間待ってまあす



ヨーガ教室



月二回職員を対象にヨーガ教室を行っています。先日体験してきました。初めてのヨーガ！！関節がメキメキ、部屋全体を暗くして周りを気にせず自分のペースで先ず瞑想、柔軟、そして呼吸法と取り入れながら、猫のポーズへと進んでいきました。猫のポーズ…難しい。体の硬さもあり思わず「痛たあ」と声が出てしまいました。進行中は目を閉じて先生の言われるポーズについていくのですが、身体が硬すぎて先生のように滑らで流れるような腕や足の動きとは、比べ物になりません。(薄目で先生のポーズを観ていました(*^-^*))



約二時間の教室が終わり、先生が片鼻呼吸について教えてくださいました。片鼻呼吸法は、左右の鼻の穴で、交互に息を吸ったり吐いたりするもので、まず親指で右鼻を押さえ左鼻から吸って、薬指で左鼻を押さえ親指を離し右鼻で吐きます。そのまま右鼻から吸って、親指で右鼻を左鼻から吐きます。この呼吸法もカラダのバランスを整える効果があるそうです。早速、寝る前に行いましたが、慣れてないので息苦しさを感じましたが、段々とスムーズになり、気分が落ち着いていきました。それから時々寝る前に寝付けない時は行っています。



西3階 半田



いまくぼさんちのヤマト君

手術をし歩けなくなったので車イスを買い元気に歩けるようになりました。

Uchinoko Jiman

うちのまん。

お散歩
楽しいな



とくぎ：
家族を笑顔にできる。

困った事：
トイレをほぼ失敗する事。
成功する事は、まれにある。



つかつかで
お気に入り♡

ぽっかぽか あい広場

外来アクアリウム



待合室の受付前の水槽を設置し何十匹もネオンテトラが泳いでいます。待ち時間の間、ちょっと数えてみて下さい。私は7匹で目がチカチカになりました。時々お水がグリーンになっていますが、事務部長が一生懸命お世話しています。最近では、クリーム色の魚も増えています。待ち時間の間にそっと視線を向けみて下さい。

西3階病棟 半田

ネオンテトラ

ネオンテトラは、カラシン目カラシン科の熱帯魚。発見は1936年。ネオンのようなメタリックブルーに光って見える体側が特徴であり、テトラと呼ばれる観賞魚類の中でも特に知られた種である。近縁種としてカージナルテトラ、グリーンネオンテトラなどがある。



何匹いるかな？



七夕お茶会

今年も雨の七夕、コロナウイルスの影響により、毎年恒例の流しそめんやスタッフの浴衣でのおもてなしによる盛大な七夕会は自粛し、今年はラウンジの七夕飾りの下で小さくお茶会を催しました。

夏らしい涼やかな水羊羹や水まんじゅうをお茶請けに、スタッフが番茶を煎ってお茶を入れ、香ばしい香りに包まれたフロアで、しばし笑い笑顔のあふれる温かい時間が流れました。「ペロッと食べたよ。」「お茶が本当に美味しかった。」活気あふれた盛大な催しではなくても少しだけの非日常が、こんなにも患者さんに笑顔を運んでくれます。嬉しい声に、私達スタッフが笑顔と元気をもらうことになりました。

緩和ケア病棟 師長 岡本

どの顔が
すきですか？



発行
特定医療法人久会
関南病院
編集
関南病院新聞部
編集長 高野 篤
高知市知寄町一五二二
電話(088)882226

MAP